

老神温泉

老神温泉は沼田市中心部の東、片品川沿いにある小さな温泉郷で、川の両岸の急峻な丘陵地に計 13 軒の温泉ホテルや旅館が建ち並んでいる。これらの施設では個々に趣向を凝らした浴槽での入浴や、川魚や季節の野菜など地元の食材を使った食事など、伝統的な温泉リゾートを体験することができる。

伝説によると、老神温泉では 1000 年以上前から人々が入浴しており、温泉の発見は近くの赤城山の神によるものとされている。赤城山の神は、北東にある男体山の神を退治するために蛇の姿になるが、相手の放った矢に当たって傷を負う。蛇神は矢を引き抜き、地面に突き刺す。湯が湧き出ると、蛇神はたちまち傷を癒し、敵を追い払う力を得る。老神温泉は蛇神が蘇った場所にあると言われ、神は町の上にある赤城神社に祀られている。

片品川にかかる真っ赤な吊り橋、内楽橋からは集落と周辺の渓谷の風景を眺めることができる。